

補正予算特別委員会民生福祉分科会会議記録

1. 開催日	平成30年 2月20日 (火)
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	恒田正美、森本富夫、大西基雄、向井千尋、吉田知代、渡辺拓道
4. 会議に付した事件	<p>議案第21号 平成29年度篠山市一般会計補正予算 (第12号)</p> <p>議案第22号 平成29年度篠山市住宅資金特別会計補正予算 (第4号)</p> <p>議案第25号 平成29年度篠山市国民健康保険特別会計補正予算 (第5号)</p> <p>議案第26号 平成29年度篠山市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第3号)</p> <p>議案第27号 平成29年度篠山市介護保険特別会計補正予算 (第5号)</p>
9:29 開会	<p>恒田委員長 挨拶</p> <p>(開会)</p> <p><b>日程第1、議案第21号 平成29年度篠山市一般会計補正予算 (第12号)</b></p> <p>市民生活部</p> <p>■市民生活部より、補正予算書に基づき説明 (市営斎場)</p> <p style="text-align: center;">&lt;主な意見&gt;</p> <p>森本副座長 斎場運営管理費に関し、火葬炉耐火材全面改修工事について、入札等の状況はどうであったのか。</p> <p>市民生活部 当該事業については、火葬炉改修という特殊な工事内容であるため、随意契約としている。建設当時、関連事業者としては4社あったが、選定委員会などの判断の下、市営斎場の火葬炉を設置した実績がある事業者に決定した。</p> <p>■市民生活部より、補正予算書に基づき説明 (清掃センター)</p>

質疑なし

■市民生活部より、補正予算書に基づき説明（市民衛生課）

<主な意見>

森本副座長 衛生使用料に関し、市営墓地である王地山及び今田町今田の一本松霊園の料金及び空き状況は。

市民生活部 王地山における1基あたりの料金については、市内の方が30万円、市外の方は40万円であり、一本松については、市内の方は8万円、市外の方は10万円である。空き状況としては、王地山が392の内7、一本松は71の内20となっている。なお、空き状況については、平成30年1月末現在の数値である。

向井委員 塵芥処理費に関し、市指定ごみ袋購入費減額の具体的な理由は何か。

市民生活部 購入枚数は予定どおり購入した中、入札により単価が下がったことが要因である。

■市民生活部より、補正予算書に基づき説明（市民課）

<主な意見>

向井委員 戸籍住民基本台帳費に関し、マイナンバーカード等への旧姓併記については、平成30年度から取り組むことができるのか。

市民生活部 旧姓併記のための既存住基システム改修を平成30年度も行う可能性があることから、いつから実施できるかについては、明言することはできない。

大西委員 マイナンバーカードの交付状況及び活用方法は。

市民生活部 平成30年1月末時点において、3,348枚を交付している。活用については、本人確認の身分証明書やe-tax等が考えられる。

大西委員 コンビニにおける住民票等の交付について検討は進んでいるのか。

市民生活部 平成30年度に検討していく予定である。

■市民生活部より、補正予算書に基づき説明（人権推進課）

<主な意見>

向井委員 男女共同参画費に関し、女性委員会の報酬減額の理由は。

市民生活部 開催回数及び委員数の減によるものである。

向井委員 活発に活動されていると理解しているが、回数と人数が減った理由は何か。

市民生活部 予算上は月1回の開催とし、計12回で計上していた中、第9期の開始時期が8月となったため開催回数が減少した。なお、8月以降は月1回のペースで開催している。委員数の減少については、定員10名で公募したが、7名の応募に留まったことによる。なお、委員の中には第8期から参加している委員もいる。

向井委員 女性委員会は、政策提言を行うこともできる場であると認識している中、女性の各種機関への参加状況は。

市民生活部 フィフティプランでは、女性の附属機関への登用率の目標を30%と定めているが、平成29年度においては、23%程度に留まっている。可能な限り、女性委員を登用するよう関係部署に働きかけを行っている。また、篠山市自治会長会において、男女共同参画を推進する研修会を開催されていることに加え、女性消防団員を10名任命している。様々な分野において、女性の活躍は不可欠であると認識している。

吉田委員 ふれあい館運営費について、工事請負費減額の理由は何か。

市民生活部 日置及び味間ふれあい館における空調機設置に関する工事であるが、事業費の確定によるものである。

大西委員 ふれあい館運営費に関し、報償費の減額理由については、講師料のかからない、または安価な講師が多かったことによるとの説明であったが、講師選定に係る今後の方針は。

市民生活部 方針というものではないが、平成29年度は、地域に馴染みのある講師に依頼した事業が多かったため余剰が生じたが、内容によっては市外の講師に依頼することもある。

森本副座長 人権推進費に関し、あいさつ運動補助金について、交付の対象となる団体は何か。

市民生活部 各自治会、PTA等が対象団体であり、平成29年度は4団体に交付した。

森本副座長 どのような場合に活用できるのか。

市民生活部 あいさつ運動を行う際に使用するのぼり旗等の作成費用を対象経費としており、3万円を上限に交付するものである。

森本副座長 多くの団体が活用しやすいよう工夫されたい。

## 日程第2、議案第22号 平成29年度篠山市住宅資金特別会計補正予算(第4号)

■市民生活部より、補正予算書に基づき説明(人権推進課)

質疑なし

日程第1、議案第21号 平成29年度篠山市一般会計補正予算（第12号）

■市民生活部より、補正予算書に基づき説明（市民協働課）

<主な意見>

- 大西委員 防犯対策費に関し、市内における防犯カメラ設置箇所を説明されたい。
- 市民生活部 平成25年度から補助金制度を開始している中、平成25年度に3台、平成26年度は5台、平成27年度は7台、平成28年度は4台、平成29年度は12台の予定で、合計31台を設置してきている。
- 大西委員 防犯カメラの録画映像は、一定期間が経過すると自動で上書きされるのか。
- 市民生活部 その通りである。なお耐用年数は10年程度となっている。
- 吉田委員 平成29年度における防犯カメラ設置補助金について、不採択はあったのか。
- 市民生活部 県及び市への補助金申請は全部で12件あった中、ある自治会において2台の申請があったうち、1台分のみとなった事例がある。
- 吉田委員 防犯カメラの設置を希望している自治会等が多いと考えることから、しっかりと活用できるよう周知等に取り組まれないか。
- 森本副座長 防犯カメラ設置補助金に関し、平成29年9月補正により、7台分を追加計上した経緯がある中、3台分を減額する理由は何なのか。
- 市民生活部 7台のうち想定台数を含んでいたことによる。
- 森本副座長 国庫補助金を活用して市内全域で何百台も整備している他市の事例も聞く中、希望者に補助するのではなく、市として市全域の必要箇所に設置する考えはあるか。
- 市民生活部 公安委員会や警察署等との協議の中で、設置効果が非常に高い場合や警察署からの設置要望があれば対応していきたいと考えている。
- 恒田座長 防犯カメラ設置補助について、2台の申請に対し1台のみ採択となった自治会があるとのことであるが、減額の3台分の予算で対応できなかったのか。
- 市民生活部 当該自治会のケースについては、県補助申請の際に2箇所の内、1箇所は危険箇所ではないため不採択となったことが要因であり、予算上の問題ではないとご理解いただきたい。
- 向井委員 コミュニティ活動推進費に関し、西宮共同幼稚園による寄付金の使途について、旧後川小学校への活用に限定されるのか。また、これまでの寄付金総額はいくらなのか。
- 市民生活部 西宮共同幼稚園からの寄付金については、旧後川小学校の活用にあつ

ることを目的に寄付されている。寄付金総額については、平成 24 年からの 5 年間で 1 千万円になっている。

向井委員 今回の備品購入については、西宮共同幼稚園の希望か、それとも後川郷づくり協議会からの要望によるものなのか。

市民生活部 後川郷づくり協議会からの要望であるが、西宮共同幼稚園と協議の上で理解いただき購入している。

渡辺委員 交流推進費に関し、国際交流推進事業費について、平成 29 年度において、韓国の上清郡を訪問する予定があったが、大統領選の時期と重なったこと等から、実現しなかったと認識している。その後の動きについて説明されたい。

市民生活部 大統領選挙や市長の日程調整が難しかったことから実現しなかった。11 月以降は担当者と連絡が取れていない。また、平成 30 年度には郡守選挙があるため、こちらからの連絡は控えている状況である。

■市民生活部より、補正予算書に基づき説明（市民安全課）

質疑なし

保健福祉部

■保健福祉部より、補正予算書に基づき説明（地域福祉課）

<主な意見>

向井委員 老人福祉費に関し、人生いきいき住宅助成事業について、平成 29 年度当初の見込み件数及び実績はどのような状況なのか。

保健福祉部 見込み件数は 15 件である中、現時点での実績は 4 件、手続き中が 3 件、相談対応中が 1 件である。

向井委員 見込み件数と実績の差があると考えますが要因は何か。

保健福祉部 介護保険の住宅改修に比べ利用しづらいところが要因の一つと考えている。例として、介護保険では、必要な時に必要な場所だけの改修を重ねていくことができるが、いきいき住宅改修については、原則、一世帯に生涯一回しか施行できないことから、将来的な身体状況のリスクを考えた上で、改修内容を検討する必要性がある。こうした中、利用者にとっては、当該事業を活用しようとしても、将来のことまで考えることができない場合や、改修内容に応じて費用負担が高額になる場合もあるこ

	と等が利用に繋がらない要因と考えている。
向井委員	当該制度をしっかりと周知できているのか。
保健福祉部	周知については、介護支援専門員や住宅改修施工業者に説明しており、施工業者が市民に提案される場合も増えてきていることから、取り組んでいるものと認識している。
向井委員	老人福祉費に関し、在宅高齢者支援事業の減額理由は。
保健福祉部	主な減額理由は2点ある。まずは、社会福祉協議会に業務委託している外出支援サービス事業に関し、運行実績に基づき運転員の人件費を減額するものあり、次に、生活管理指導短期宿泊事業としての養護老人ホームへのショートステイ委託事業について、1ヶ月に7日間の利用が最大となることから、残りの月数を勘案して減額するものである。なお、本年度は1件の利用があった。
向井委員	老人福祉費に関し、地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金事業について、具体的にどのような内容なのか。また減額の理由は何か。
保健福祉部	当該交付金事業は、平成27年に改正された消防法により、平成30年3月末までに、火災時に消防署へ自動で通報する連動工事が必要となったことを受け、既存高齢者施設等にスプリンクラー等を設置するものである。平成29年度においては、8事業所が当該事業を活用された中、6事業所が連動工事、残りの2事業所は自動火災通報装置の設置と連動工事を実施している。減額理由については、契約の際に精査され、最も安価なところで実施されたことによる。
向井委員	障害者福祉費に関し、障害者総合支援法給付事業における補装具給付費について、当初見込みと実績を説明されたい。
保健福祉部	全体として当初は、771万8千円を見込んでいたが、平成27年度、4台約65万円、平成28年度3台約42万円であり、例年より車いす給付が多く本年は10台分、357万円となり、給付件数が上回ることになったため増額しようとするものである。
向井委員	生活困窮者自立支援費に関し、生活困窮者自立相談支援事業について、印刷製本費が計上されているが、どのような印刷物を予定していたのか。
保健福祉部	制度改正があった場合に備え印刷製本費を計上していたが、平成29年度においては、制度改正が無かったため不用額として減額しようとするものである。
吉田委員	老人福祉費に関し、老人クラブ数が減少傾向にあるとのことであるが、平成29年度においてどの程度減少したのか。
保健福祉部	平成29年3月末には96クラブあったが、現在93クラブになっており、3クラブが休止している。
吉田委員	休止しようとしている老人クラブについては、事前に相談があるので

はないかと考えるが、そうした際に活動を継続いただけるような働きかけは行っているのか。

保健福祉部 篠山市老人クラブ連合会の事務局は篠山市社会福祉協議会が担っていることから、市が直接相談等に応じることはないが、老人クラブの活性化については、重要課題と認識しており、社協と連携する中で改善を図っていききたい。

吉田委員 老人クラブが休止に至る理由は何か。

保健福祉部 新規加入会員の減少や会員の高齢化、篠山市老人クラブ連合会の役員負担等が理由として考えられる。また、老人クラブに対する補助金については、市老連に加入しなければ受けられない中、公金という性質上、用途の限定や事務負担等が伴うことから、加入されない老人クラブもある。なお、市老連に加入していないことをもって老人クラブとして活動していないとはいえないとご理解いただきたい。こうした老人クラブの実態については、把握していく必要があると感じている。

### 日程第3、議案第27号 平成29年度篠山市介護保険特別会計補正予算(第5号)

#### ■保健福祉部より、補正予算書に基づき説明(地域福祉課)

##### <主な意見>

向井委員 介護保険の財政見通しについては、基金をすべて取り崩してもなお県から借り入れをしなければならぬ状況も想定されるものと聞いているが、現時点での見通しはどのように考えているのか。

保健福祉部 今年度における給付費の推移状況から、基金からの繰り入れは避けられないものの借り入れをするまでの状況ではないと見通している。なお、平成30年3月の給付費については当然のことながら未定であるが、平成30年1月及び2月の給付費の状況等から見通しの範囲内にあると考えている。

向井委員 介護保険給付費が増加する要因は何が想定されるのか。

保健福祉部 市外施設入所者数が大きな影響を与えると認識している。加えて、入院している状態で認定審査をする場合、より重度化する傾向にあると考える。こうした状況が影響し、平成27年度から平成29年度にかけて、1億円ずつ給付費が増加していると考えている。

向井委員 新しい総合事業における訪問型・通所型サービス利用者や給付費が計画値よりも小さいことから、あまり事業が動いていないようにも見受けられるが、実際のところはどうなのか。

保健福祉部 当市においては、平成 29 年 4 月 1 日から要支援者全員を一斉に総合事業に移行した中、利用者については、「いきいき塾」や「いきいき倶楽部」、有償ボランティア等の生活支援サービスに移行された方もあるため、少なくなっている。新しい総合事業の給付費が小さい要因としては、これまで通所型サービスを沙龙的に利用されていた方に対して、利用回数を控えていただくなど、サービスが必要な方に提供する方向性で働きかけ等を行っていることによる。

## 日程第 1、議案第 21 号 平成 29 年度篠山市一般会計補正予算（第 12 号）

### ■保健福祉部より、補正予算書に基づき説明（福祉総務課）

#### <主な意見>

向井委員 社会福祉総務費に関し、社会福祉協議会助成費の減額について、職員の退職が理由とのことであるが、福祉の職場は精神的・身体的に大変な仕事であると考え。労働環境として心身の健康を維持できるものになっているのか。

保健福祉部 今回の退職は若い女性の職員であったが、退職の理由としては、自身の趣味を生かして働きたいとのことであった。篠山市社会福祉協議会における職場環境の課題のひとつとして、若手職員の育成があると考えている。キャリアを形成していくことが難しい要因のひとつとしては、中間職の職員が少ない点があるのではないかと考えている。こうしたことから、来年度は篠山市社会福祉協議会職員の研修の一環として、市役所で一定期間、働いていただくという取り組みを進めようとしている。

向井委員 ソーシャルワーカーという仕事は、資格の有無で仕事の出来、不出来が単純に決まるものではなく、経験が重要であると考えることから、長期的に働き続けられるよう支援いただきたい。

渡辺委員 遺族関係費に関し、戦没者追悼式について、今年度の内容に対して従来と趣が異なる印象を持った。戦没者追悼式の趣旨を確認しておきたい。

保健福祉部 戦後 70 年以上が経過する中、遺族関係者の方々の人数が減少していることもあり、多くの市民の方も出席いただけるよう「平和のつどい」として開催した。戦没者追悼式と平和の祭典という 2 つの趣旨で取り組んだものである。

渡辺委員 構成の意図は理解できないでもないが、慰霊祭としての戦没者追悼式が主であることはしっかりと認識いただきたい。今回の「凧になった母さん」の劇は平和学習には効果があるかもしれないが、慰霊祭には相応



しい内容でなかった。英霊の前で行って然るべき内容のとするよう十分検討されたい。

保健福祉部 今後、十分検討していく。

■保健福祉部より、補正予算書に基づき説明（健康課）

<主な意見>

向井委員 予防費に関し、健康増進事業費について、いきいき塾に係るパンフレット作成ができなかった理由は何か。

保健福祉部 平成 29 年度に市内全地区でいきいき塾の取り組みが開始された後にパンフレットの作成を予定していたが、雲部地区が平成 30 年 5 月以降から取り組みを開始されることになったため、その後に県事業を活用してパンフレットの作成を考えている。

向井委員 いきいき倶楽部ではなく、いきいき塾のパンフレットなのか。

保健福祉部 いきいき塾のパンフレットを作成する予定であり現在 10 の事業所において実施している「いきいき塾」用のパンフレットを 19 地区用としての作成を予定している。

■保健福祉部より、補正予算書に基づき説明（医療保険課）

質疑なし

日程第 4、議案第 25 号 平成 29 年度篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第 5 号）

■保健福祉部より、補正予算書に基づき説明（医療保険課）

<主な意見>

向井委員 歳入に関し、国民健康保険税の減額理由について、被保険者の人数が減ったとのことだが、どれくらい減ったのか。

保健福祉部 一般被保険者で当初 9,810 人の見込みから、現在は、9,539 人の見込みであり、退職被保険者は、当初 291 人の見込みから、224 人の見込みである。

向井委員 収入が少なくなることによる影響は何かあるのか。

保健福祉部 所得によるものであれば、人数が変わらないので影響が出るが、人数が減る分、医療費も減ることから大きな影響はないと考えている。

森本副座長 診療所の医療用機器購入の減額が大きい、その要因は。  
保健福祉部 当初予算時は、いくつかのオプション対応ができるように予算計上していたが、購入時に他の医療機器で活用できないか精査しオプションを減らしたことに加え、入札により減額となった。

森本副座長 医師の希望は確保できているのか。  
保健福祉部 確保できている。

### 日程第5、議案第26号 平成29年度篠山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）

#### ■保健福祉部より、補正予算書に基づき説明（医療保険課）

質疑なし

#### ■意向確認

議案第21号 平成29年度篠山市一般会計補正予算（第12号）  
— 修正・反対等の意見なし —

議案第22号 平成29年度篠山市住宅資金特別会計補正予算（第4号）  
— 修正・反対等の意見なし —

議案第25号 平成29年度篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）  
— 修正・反対等の意見なし —

議案第26号 平成29年度篠山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）  
— 修正・反対等の意見なし —

議案第27号 平成29年度篠山市介護保険特別会計補正予算（第5号）  
— 修正・反対等の意見なし —

（閉会）

森本副座長 挨拶

13:44 閉会